

**第132回**  
**日本心身医学会関東地方会**  
**プログラム・抄録集**

会 期：2022年 **2月5日** 土・**6日** 日

開催事務会場：国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

会長 **河合 啓介**

国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科



# 第132回日本心身医学会関東地方会 開催にあたって

第132回日本心身医学会関東地方会

会長 河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

このたび第132回日本心身医学会関東地方会を2022年2月5日(土)・6日(日)に国立国際医療研究センター国府台病院心療内科で開催させていただくことになりました。

本大会は2021年2月に開催の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で一年延期になりました。さらに、2022年1月18日の段階で感染収束の見通しが立たない状況を考慮し、学会は完全 Web 開催に変更いたしました。度々の変更でご迷惑をお掛けしております。対面式で無くなったことは誠に残念ではありますが、今回は Web 開催の利点を活かして、多くの皆様にご参加とご討議をいただければと思います。

今回のテーマは「身体から見る心身医学」とさせていただきました。特別講演では、中野重行先生(大分大学名誉教授)に「コミュニケーションは『やわらかな1.5人称』～歩んできた道、歩んでゆく道～」という演題でご講演をお願いしました。シンポジウムは、〈栄養と心身医学〉に関する内容で、精神科医、心療内科医、外科医、予防研究など様々な立場から、栄養状態がヒトの心身に及ぼす影響や、それに対する最新の治療法をディスカッションする予定です。心身医学講習会は、本学会の江花昭一先生にコーディネートをお願いして、日本自律訓練学会のバックアップで「明日からの診療に役立つ自律訓練法(AT)入門～患者のために、自分のために～」を開催します。

本会にご参加くださいます皆様一人一人を、スタッフ一同心から歓迎いたします。

# 第132回 日本心身医学会関東地方会 プログラム

会長 河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

■ 日 時：2022年2月5日(土) 13:00～17:00、6日(日) 9:00～17:00

■ 開催事務会場：国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

---

## お知らせ

---

- 1) 幹事会を11時より、国立国際医療研究センター病院 4階 第一会議室にて行います。
- 2) 昼食以外は飲食禁止。
- 3) 一般演題は、発表10分、質疑5分です。時間厳守でお願いします。
- 4) 発表はパワーポイントでお願いします。なお、当日会場で使用するのはパワーポイント2019/2020(Windows版)ですので、あらかじめ同一バージョンでの動作確認をお願いします。

### 5) 地方会参加費

	会 員	非会員
医 師	3,000円	5,000円
メディカルスタッフ、学生等	2,000円	3,000円

### 6) 関東甲信越支部講習会参加費

3,000円(会員)、5,000円(非会員)

### 7) 取得可能単位

- 日本心身医学会認定医
- 日本心身医学会認定心身医療専門医
- 日本心身医学会・日本心療内科学会合同心療内科専門医(地方会参加5ポイント、演者は3ポイント加算、講習会参加3ポイント加算)
- 心身医学会認定医療心理士(地方会参加5ポイント、演者は5ポイント加算、講習会参加3ポイント加算)
- 臨床心理士資格更新ポイント(参加者2ポイント、演者は2ポイント加算)

### 8) 連絡先：第132回日本心身医学会関東地方会事務局

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科内

TEL：047-372-3501(代表) FAX：047-375-4792

E-mail：psm132gakkai@gmail.com(お問い合わせはE-mailでお願いいたします。)

# プログラム

第1日目 2022年2月5日(土)

13:00～13:05 **開会の辞**

河合 啓介(国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

13:05～14:05 **一般演題 I**

---

座長：丸岡 秀一郎(日本大学医学部附属板橋病院 心療内科部長、  
コ・メディカルスタッフ認定制度委員会 委員長)

## I -1 COVID-19 流行の心療内科外来者への影響

○藤原 徹(ふじわら とおる)  
医療法人社団神心会

## I -2 心療内科受診患者における性格傾向、身体症状の多様性と QOL との関係

○乙成 淳(おとなり じゅん)、中尾 睦宏、安藤 哲也、岡 孝和  
国際医療福祉大学 医学部 心療内科学

## I -3 日常生活下における機能性めまいの自覚症状と感情の関連(中間報告) —3症例の経過から—

○橋本 和明(はしもと かずあき)、竹内 武昭、村崎 舞耶、須賀 俊介、柊 未聖、  
小山 明子、嶋 美香、中村 祐三、都田 淳、端詰 勝敬  
東邦大学 医学部 心身医学講座

## I -4 過敏性腸症候群として紹介された症例

○富田 吉敏(とみた よしとし)<sup>1)2)</sup>  
1)国立精神神経医療研究センター、2)国立国際医療研究センター国府台病院

14:05～14:10 **休憩**

14:10～15:10 **一般演題 II**

---

座長：田村 奈穂(国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

## II -1 日本語版 Zarit 介護負担尺度短縮版の摂食障害への応用可能性の検討

○小原 千郷(おはら ちさと)<sup>1)3)</sup>、西園マーハ 文<sup>2)</sup>、関口 敦<sup>3)</sup>、森野 百合子<sup>3)4)</sup>、  
菅原 彩子<sup>3)</sup>、鈴木 真理<sup>5)</sup>

1)文教大学 人間科学部 臨床心理学科、2)明治学院大学 心理学部 心理学科、  
3)国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所行動医学研究部、  
4)成増厚生病院 児童・思春期精神科、5)跡見学園女子大学 心理学部 臨床心理学科

## II -2 神経性やせ症の剖検2症例

○田村 奈穂(たむら なほ)<sup>1)</sup>、石戸 淳一<sup>1)</sup>、出水 玲奈<sup>1)</sup>、大出 貴士<sup>2)</sup>、河合 啓介<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科、

2) 国立国際医療研究センター国府台病院 臨床検査科・病理診断科

## II -3 たこつぼ型心筋症を来した神経性やせ症の一例

○佐藤 薫子(さとう かおるこ)

東京大学医学部附属病院 心療内科

## II -4 抑うつ傾向者の心身の意識と身体感覚の視覚化

○今野 紀子(こんの のりこ)

東京電機大学 システムデザイン工学部 人間科学系列

15:10～15:15 休憩

15:15～16:00 一般演題 III

---

座長：木村 真人(日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科 部長)

## III -1 うつ状態の集合論的考察

○福田 克彦(ふくだ かつひこ)

草加心療内科

## III -2 認知症の早期治療開始により 意思決定支援と周術期のせん妄予防につながった一例

○中村 恭子(なかむら きょうこ)

昭和大学江東豊洲病院

## III -3 交通事故による不安障害で身体症状も併存していた患者に ブリーフセラピーが有効であった一例

○土居 照代(どいてるよ)、澤谷 篤、木村 真人

日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科

16:00～16:10 休憩

16:10～17:00 会長講演

---

座長：菊地 裕絵(国立国際医療研究センター病院 心療内科)

## 身体からみた摂食障害の病態理解と治療

河合 啓介(かわい けいすけ) (国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

## 第2日目 2022年2月6日(日)

9:00～12:00 **日本心身医学会関東甲信越支部講習会**

---

司会：石井 広志(石井歯科医院 院長)  
小島 夕佳(国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

### 明日からの診療に役立つ自律訓練法(AT)入門 ～患者のために、自分のために～

講師：江花 昭一(えばな しょういち)(神奈川大学 保健管理センター センター長)  
佐瀬 竜一(させ りゅういち)(常葉大学 教育学部 心理教育学科 教授)

12:00～13:00 **休憩**

13:00～14:10 **特別講演(Web講演)**

---

座長：河合 啓介(国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

### コミュニケーションは『やわらかな1.5人称』 ～歩んできた道、歩んでゆく道～

中野 重行(なかの しげゆき)(大分大学名誉教授)

14:10～14:20 **休憩**

14:20～16:50 **シンポジウム**

---

座長：菊地 裕絵(国立国際医療研究センター病院 心療内科)  
都田 淳(東邦大学 医学部 心身医学講座)

### 「栄養と心身医学」

#### 1 栄養状態が認知症に与える影響

○今野 裕之(こんの ひろゆき)  
一般社団法人 日本ブレインケア・認知症予防研究所 代表理事・所長

#### 2 女性の不調や倦怠感と、鉄不足

○秋根 良英(あきね よしひで)  
医療法人社団ほっ きたなら駅上ほっとクリニック 会長

### 3 神経性やせ症患者における再栄養症候群と栄養療法

○山崎 允宏(やまざき ただひろ)  
東京大学医学部附属病院 心療内科

### 4 がん悪液質と体重減少 ～体組成から迫る栄養評価と介入～

○松井 亮太(まつい りょうた)  
順天堂大学医学部附属浦安病院 消化器・一般外科

### 16:55～17:00 閉会の辞

河合 啓介(国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

# 一般演題抄録

## 一般演題 I

座長：丸岡 秀一郎

(日本大学医学部附属板橋病院 心療内科部長、  
コ・メディカルスタッフ認定制度委員会 委員長)

## 一般演題 II

座長：田村 奈穂

(国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科)

## 一般演題 III

座長：木村 真人

(日本医科大学千葉北総病院 メンタルヘルス科 部長)

### I -1 COVID-19 流行の心療内科外来者への影響

○藤原 徹

医療法人社団神心会

---

**【背景・目的】**新型コロナウイルス感染の拡大により、首都圏ではイベント等が自粛されて在宅勤務が進むなど社会生活に大きな変化が現れている。外来型心療内科の患者にもこの影響があると考えられるが、報告例はほとんどない。そこで、COVID-19 流行前後で当院来診者の状況の変化を調べることで、この影響を検討した。

**【方法】**当院の来診者について、COVID-19 流行後に患者の状態がどのような変化をしたかを検討した。具体的には、当院における月毎の20歳以上の新たな来診者数と、初診時に実施した採点式心理検査（自己評価式抑うつ性尺度 SDS、不安尺度 STAI）の得点（平均値、標準偏差）を、流行前の2019年と流行後の2020年以後とで比較・検討した。

**【結果・結論】**新規来診者については、COVID-19の首都圏流行の第1～5波で感染者が増加するそれぞれの時期で、来診者数の一時的な減少が見られた。一方、初診時の心理検査結果では、SDS、STAIいずれも COVID-19 流行前後で得点の明確な差は認められなかった。

来診者数の一時的な減少は緊急事態宣言等による外出自粛の影響を受けたためと考えられる。一方で、COVID-19 流行は、来診者の抑うつ度や不安尺度には大きな影響は与えなかったと思われる。

# 会長講演

## 身体からみた摂食障害の病態理解と治療

河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

座長：菊地 裕絵 (国立国際医療研究センター病院 心療内科)

### 身体からみた摂食障害の病態理解と治療

河合 啓介

国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科

---

神経性やせ症 (Anorexia nervosa : AN) の低体重は、疾患特有の精神症状に由来する食行動異常の結果と考えられてきた。近年、遺伝子研究、腸内細菌研究の発展により、AN を「メタボ精神疾患」として認識する提案がなされている。

2019年ゲノムワイド関連解析の大規模研究の結果が発表され、AN には、精神疾患に加え、代謝異常調節が遺伝学的に寄与している、つまり代謝性調節異常 (食事量が同じでも体重が増加しにくい) に関する遺伝的素因を有している症例が存在することが明らかとなった。さらに、AN あるいは AN 回復者と健常者の腸内細菌のパターンに違いがあることが明らかになり、AN 患者の便を無菌マウスに移植すると体重増加が不良になるという研究成果も報告された。また、患者特有の消化管症状に関連する認知・感情因子に焦点を当てた認知行動療法を AN 患者の治療に補助的に運用する脳腸相関精神療法 (brain-gut psychotherapy) の概念も提案されている。

本講演では、これら最近の知見の紹介に加え、我々がこれまで行ってきた AN 患者の体組成の変化が症状に及ぼす影響、AN 患者の運動能力や適切なりハビリテーションの提案、極度の低栄養状態から回復する際の体組成の変化など AN 治療に運用が可能な研究成果を報告する。

AN への有効な薬物療法は確立されていない。主な治療は認知行動療法などの心理療法と栄養療法である。それに加えて、遺伝子研究と腸内細菌の研究などを統合し、治療に応用することは、AN 治療のパラダイムシフトになる可能性を含有している。さらに、この理解は治療者側の、患者に対する陰性感情の軽減にも有効かもしれない。

第132回日本心身医学会関東地方会  
プログラム・抄録集

---

会 長：河合 啓介

事務局：〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1  
国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科  
TEL：047-372-3501 FAX：047-375-4792  
E-mail：psm132gakkai@gmail.com

出 版：株式会社セカンド  
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F  
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025  
<https://www.secand.jp/>

